

IV. 業績の見通し

通期の業績につきまして、平成30年7月31日に公表した業績予想を修正いたしました。

平成31年3月期の連結業績予想につきまして、販売電力量は、平成30年北海道胆振東部地震による影響はありましたが、当第2四半期連結累計期間では概ね計画通り推移していることから、233億kWh程度から変更しておりません。

売上高につきましては、燃料価格の上昇による燃料費調整制度の影響などにより、前回業績予想に比べ40億円程度増加し、7,590億円程度となる見通しであります。

一方、利益につきましては、今後の供給力の状況を見極めていく必要があります、燃料費などの費用を合理的に算定することができないため、引き続き未定といたします。

今後、業績を見通すことが可能となり次第、速やかにお知らせいたします。

なお、電力供給につきましては、電力広域的運営推進機関が設置した検証委員会において、10月23日に公表された中間報告を踏まえ、この冬の運用上の早期対策や、中長期的に取り組むべき対策にしっかりと対応してまいります。

期末配当予想につきましては、業績を見通すことができないことから、普通株式および優先株式ともに引き続き未定とさせていただきますが、当社の配当方針である「安定配当の維持」を基本に業務運営を進め、今後、配当予想が可能となり次第、速やかにお知らせいたします。

○ 連結業績見通し

31年3月期連結業績予想 (単位：百万円)

	通	期	
		対前回増減	対前期増減
売上高	759,000	4,000	26,000
(対前期増減率)	(△6.0%程度)		
販売電力量	233億kWh程度	同程度	△15億kWh程度

○ 単独業績見通し

31年3月期単独業績予想 (単位：百万円)

	通	期	
		対前回増減	対前期増減
売上高	727,000	4,000	24,000

※ 対前回増減は、平成30年7月31日に公表した業績予想との差を記載しております。
※ 通期の為替レートは110円/\$程度(10月以降110円/\$程度)、原油CIF価格は74\$/b1程度(10月以降75\$/b1程度)として想定しております。